

第2編

風水害等災害対策編

第1章

総則

目次

第1節	災害履歴	1
第1	風水害	1
第2	土砂災害	1
第3	林野火災	1
第4	大規模火災	1
第5	その他の災害	1
第2節	被害想定等	2
第1	風水害	2
第2	土砂災害	2

第1節 災害履歴

風水害、土砂災害、林野火災、大規模火災、その他の災害に関する履歴は次のとおりである。

第1 風水害

本町に被害を及ぼした以降の風水害は以下のとおりである。

発生日時	災害要因	主な被害
1989. 8. 6 (平成元)	台風 13 号	道路、河川等の土木施設に被害が発生
2014. 7. 9 (平成 26)	集中豪雨による河川等の氾濫	床上浸水 1 件、床下浸水 12 件 路肩崩壊：町道 5 箇所、林道 13 箇所 農業施設：頭首工・用水路の流出、農地への土砂流入 60 箇所

第2 土砂災害

平成10 年に大原地区柏木山林道において、地滑り等の土砂災害が発生している。

第3 林野火災

昭和52 年に滑津地区において、林野火災が発生している。

第4 大規模火災

本町において、毎年 1～2 件程度の火災が発生しているものの、近年において大規模な火災は発生していない。昭和以降では、昭和 33 年 3 月に滑津で火災が発生し 11 棟が被害に、昭和 35 年 12 月に湯原で火災が発生し 8 棟が被害を受けている。

第5 その他の災害

その他災害としては、昭和63 年の異常気象による農作物被害、平成5 年の冷夏による農作物被害が発生している。

第2節 被害想定等

風水害、土砂災害の被害想定は次のとおりである。

第1 風水害

宮城県土砂災害危険箇所によると、横川沿川の長老、横川、大原地区において、湛水域・氾濫区域が予想されている。

第2 土砂災害

本町において、土石流危険渓流40箇所、がけ崩れ（急傾斜崩壊危険箇所）6箇所、地すべり危険箇所5箇所が存在し、そのうち土石流危険渓流11箇所、がけ崩れ（急傾斜崩壊危険箇所）3箇所、地すべり危険箇所5箇所が土砂災害警戒区域に指定されている。

【資料 2-7】土石流危険渓流

【資料 2-8】急傾斜崩壊危険箇所

【資料 2-5】地すべり危険箇所

【資料2-6】地すべり危険地区

【資料 2-11】土砂災害警戒区域